

実施概要

1 概要

公開の場で県民の皆様から施策や事業等の見直し・改善に向けた御意見をいただく「“ふじのくに”^{しみん} 士民協働 事業レビュー」を実施する。

2 目的

- (1) 県民意見に基づく施策や事業の見直し
- (2) 県民の県政への理解促進及び信頼感の醸成
- (3) 市町や民間と連携した行政運営の推進
- (4) 若者の県政理解・参加の促進
- (5) 現大綱の総括と評価について県民意見を聴取

3 実施内容

- (1) 実施日 平成29年 9月16日（土）、17日（日）
- (2) 会場 静岡県庁別館（静岡市葵区追手町9-6）
- (3) 実施主体 主催 静岡県
共催 ふじのくにづくり学生研究会（※1）
特定非営利活動法人静岡時代（※2）
- (4) 実施方法 本県の予算事業について、有識者等が中心になってその効果などに関する議論を行い、無作為抽出等によって選ばれた県民が議論の内容を踏まえ効果判定を実施
- (5) 対象事業等 効果判定を行う事業 8事業
- (6) 体制 1班（1会場）あたり
 - ・コーディネーター 1人（進行役）
 - ・専門委員 5人（県職員等への質問や議論を行う方）
 - ・県民評価者 70人程度（議論を聴いた上で評価、判定等を行う方）
- (7) 作業時間 予算事業の効果判定 1事業 100分
- (8) その他 インターネットを活用してライブ中継を実施

4 県民評価者（応募者）

- (1) 無作為に抽出した18歳以上の県民 188人
- (2) “ふじのくに” づくりサポーター（※3） 62人
- (3) 県内の若者（U29応募者） 64人
- (4) 県内の高校生 11人

・男女別 男性 188人、女性 137人

年代別	～20代	30代	40代	50代	60代	70代～	合計
	99人	28人	42人	64人	59人	33人	325人

※1 ふじのくにづくり学生研究会

平成26年度の「“ふじのくに”^{しみん} 士民協働 事業レビュー」に県民評価者として参加した50人の大学生のうち、有志により結成。大学生の視点や日々の学び・経験をもとに、自治体運営について研究し、若者の視点や意思を提言する学生シンクタンク。

※2 特定非営利活動法人静岡時代

静岡県を“学び”を切り口としたブランディングによって、県内外から人（特に学生）を惹きつける地域に変えようと、大学生発信による大学社会・地域社会の広報事業を展開。具体的な事業として、静岡県内すべての大学で配布している大学情報誌『静岡時代』や高校生向けに県内大学の魅力や大学の学びについて伝える『ハイスクール静岡時代』の発行などを行っている。

※3 “ふじのくに”づくりサポーター

これまでに「事業レビュー」や「事業仕分け」に参加していただいた県民のうち、希望する方にサポーターとして登録していただいている。県からニュースレターや県民が参加できる会議・イベント等の情報を提供するほか、意見の募集等も随時行う。
(平成29年8月1日現在の登録人数 291人)

5 事業レビューの流れ

<施策概要説明(10分)>

冒頭に、対象施策の概要
(施策の現状と課題や施策における事業の位置付けなど)を説明します

<予算事業のレビュー(90分)>

事業説明

事業担当課職員が事業概要を説明します

質疑応答

専門委員が県職員と議論を行います

レビュー

県民評価者が事業の効果を判定します

事業の効果に着目した判定を行う

レビューの結果はそのまま県の最終判断となるものではありません。

レビューの結果や議論の内容を踏まえて検討を行い、県の方針を決定するための参考とするものです。

6 対象事業の選定

平成27年10月に策定した「美しい“ふじのくに”まち・ひと・しごと創生総合戦略」の初年度の評価を踏まえ、重点施策の中から第1回行財政改革推進委員会において、対象8施策を決定し、第2回行財政改革推進委員会において施策ごとに対象事業を決定